

赤松金芳著「新訂和漢薬」より

生薬名 蘆

新訂和漢薬 記載頁

628

基源 蘆: イネ科 ヨシ(アシ) *Phragmites communis* Tr. var. *longivalvis* Miq. の根茎, 嫩芽, 茎葉, 花穂.

部位 根茎 (芦根);
嫩芽 (芦笋, 炎[和名抄]);
葉茎 (芦葉茎, 葦茎);
花穂 (蓬蘽)

作用 根茎 (芦根):
無毒. 止小便利 [新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目], 解熱 [証類本草, 本草綱目] (= 清燥熱 [証類本草, 本草綱目]), 開胃 [証類本草, 本草綱目] (= 健胃 [滿洲漢薬]), 緩和, 清血, 利尿, 解凝 [和関薬鏡].

嫩芽 (芦笋, 炎):
利小便, 止渴 [本草綱目].

葉茎 (芦葉茎, 葦茎):
無し.

花穂 (蓬蘽):
無し.

応用 根茎 (芦根):
客熱, 消渴 [新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目], 嘔逆 [証類本草, 本草綱目, 滿洲漢薬] (= 嘔吐 [滿洲漢薬]), 反胃 [本草綱目, 滿洲漢薬], 不下食, 噎噎, 煩悶, 瀉痢, 心熱 [証類本草, 本草綱目], 黄疸, 脾病, 羸瘦, 間歇熱, 痛風, 瘡腫, 疥癬 [和関薬鏡].

嫩芽 (芦笋, 炎):
膈問客熱, 河豚諸魚蟹毒 [本草綱目].

葉茎 (芦葉茎, 葦茎):
肺癰, 煩熱, 霍乱, 嘔逆, 癰疽 [本草綱目, 古方薬議], 惡肉, 黒子, 金瘡 [本草綱目].

花穂 (蓬蘽):
霍乱 [証類本草, 本草綱目], 諸血病, 魚蟹毒, 衄血, 崩中 [本草綱目].

処方 根茎 (芦根):
芦根飲[嘔吐].

備考 別名: 葦 [多識編].